

平成27年（2015年）4月3日

校長 内堀 繁利

今年度、上田高校の校長になりました、内堀繁利です。
よろしく申し上げます。

さて、平成27年度の始業式に当たって、思うところを少し話したいと思います。
長く話すと嫌がられるので、できるだけ手短かに話します。

すでに学校中色々なところに掲示がありますし、ニュースなどで知っている人も多いと思いますが、本校が、今年度から5年間、文部科学省のスーパー・グローバル・ハイスクールの指定を受けました。

2年目の今回は全国で56校、昨年もだいたい同数が指定を受けていますが、上田高校がその中の1校に選ばれたということです。

今日はまずこの喜びを皆さんと分かち合いたいと思います。

一昨年の申請内容、昨年のアソシエイトとしての活動実績、それを受けて今年以降に向けて作成した申請内容が高く評価されたと聞いています。

この、スーパー・グローバル・ハイスクールの目的は、国際的に活躍できるグローバル・リーダーの育成にあります。

グローバル・リーダーとは、まずはグローバルな視点を持っていること、そして、社会の課題がどこにあるか見つけることができ、その課題を、関係する様々な人と連携・協働して解決できること、といった資質を持っている人のことを言います。

グローバル・リーダーのすべてが実際に世界に羽ばたく必要はないと考えます。グローバルな視点を持って地域を活性化するグローバル・リーダーも当然ありだと思えます。

指定を受けて、この学校でこういった力を皆さんに身に付けてもらおうと思っています。

本校の教育目標には、「平和的な国家・社会の形成者として・・・個性豊かな自主的精神に満ちた資質を養う」とあります。

「目指す学校像」には、「文武両道・自学自習の伝統の継承」「自らを律し、他とも協調できる生徒の育成」とあります。

表現こそ違いますが、本校は、その長い歴史の中で、これまでも、自分の意志で自主的に様々なことに挑戦し、学び、考え、他と協調してよりよい社会を作り出す、そういう力を生徒に身に付けられるようにやってきたと言えます。

今回はそこに、一つの国のレベルを超えて世界規模で、すなわちグローバルに、物を捉え、考えるという視点を加えたと言いかえることもできると思います。

ところで皆さんは、上田高校に入学してそれぞれ1年、または2年が経ったわけですが、入学以来、自分の意志で主体的にどれ位いろいろなことに取り組んできたでしょうか。

例えば授業。

毎時間漫然と教室に行き、先生からやれと言われたことだけを仕方なくやっているということはないでしょうか。誰に言われなくても翌日の授業に向けて自分で下調べをするとか、その日に勉強したことについて図書館に行ったりネットで調べたりして自分で学びや理解を深めたりとか、そういうことをしたことはあるでしょうか。

例えば班活。

顧問の先生の指示に頼り切りで、先生から言われたことをただやっているということはないでしょうか。自分なりに考え、工夫して、改善をしたことはあるでしょうか。

掃除。今日来てくれた人たちには、まず自分で考えてやってみてくれと言ったところ自分たちでやってくれましたが、こうしてくれと言われるまで何もせずただ立ってしゃべっていたことはないでしょうか。

授業にしても、班活にしても、生徒会活動にしても、受け身で仕方なくただ言われるとおりにやるのと、自分で考えて、試行錯誤しながらやるのとでは、同じ1時間でも大きな違いが出るし、それが毎日、毎月積み重なったら、途方もなく大きな差となります。

身に付くものが全く違ってきます。そこを変えてほしいのです。

皆さんの多くは大学へ進学すると思いますが、大学に入ったらますます自ら主体的に学ぶことが求められます。そもそも言えば、大学に入ること自体は最終の目的ではなく、あくまで、その先に続く大きな夢や理想の実現のために学ぶ場所だと考えますが、その大学に入って学ぶためにも、今から自分の意志で全力で勉強をしてほしいのです。

課題を見つけるためには、「本当にそうか？」といつも自らに問うことが大事です。

この学校で、この社会で、行われていることが本当にいいのかと疑ってみることです。

そこから辿り着いた、改善すべきと自分が思うこと、それが課題です。

また、自分と違う考えや異質なものを面白がる努力をしてほしいと思います。

物事に対するモチベーションを上げるには、すべてを楽しみ、面白がることです。

先程言った「文武両道」とは「様々なことにチャレンジしろ」ということです。

「自学自習」とは「自らの意志で学べ」ということです。

今日から、寝る時間を削ってでも、自分の意志で様々なことに本気で取り組んでください。

がんばりましょう。皆さんの可能性にうんと期待しています。

最後に。

校長室は開かれています。話をしにいつでもドアを叩いて入って来てください。

色んなことを話しましょう。

終わります。